

第4回 テーマ企画展について

多摩地区には、「東洋一」と謳われた自家用自動車製造工場が存在した

なぜ多摩に？

※1962年～2004年に東京都武蔵村山市・立川市に存在した「プリンス自動車(現:日産自動車) 村山工場」のこと。

- ①第二次世界大戦中、多摩地区には「中島飛行機」と「立川飛行機」の生産拠点が点在していた
- ②大戦後、上記2社は飛行機ではなく「クルマ」の製造を始めた
- ③2人の航空機技術者が、画期的な「クルマ」を開発した
- ④1960年代、自家用車は新三種の神器(3C:カー、クーラー、カラーテレビ)と持てはやされ、多摩地区の工場をはじめとした自動車産業の発展は日本の高度経済成長を支えた



出典：日産ヘリテージコレクション



出典：スバルオンラインミュージアム

そこで…

第4回テーマ企画展

2人の航空機技術者が創ったクルマ

— 高度経済成長を支えた自動車産業の一端を探る —

Topic 1

なぜ、飛行機会社が「クルマ」を創り始めたのか

Topic 2

2人の航空機技術者は、どんな「クルマ」を創ったか

Topic 3

Topic1とTopic2からわかること

考えてみよう

ものづくり企業が
存続するために必要なこと

「ものづくり」「技術開発」
「イノベーション」の意味

科学・技術の継承や
技能の伝承の重要性

【展示物の紹介】

- 1 職業大図書館所蔵図書
 - ・『スバル：ヒコーク野郎が作ったクルマ』
 - ・『プリンス自動車工業の歴史』
- 2 Webサイト情報
 - ・ニッサン、スバルホームページ
 - ・日本の自動車技術330選（JSAE）
- 3 「たま電気自動車」スケールモデル（1/30）
- 4 雑誌『PRINCE』

など

多くの皆さまに地域とその歴史を知ることの楽しさ、興味・関心を持つことの喜びを体感していただきたいと思います。ぜひ、職業大図書館にお出かけください。皆さまのお越しをお待ちしています。



職業能力開発総合大学校
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)